

## 初芝堺中学校における IT 化実践導入事例と教育効果

田上正範<sup>1)</sup> 岩澤 歩<sup>2)</sup> 江口昌一<sup>2)</sup> 今中武<sup>1)</sup> 一色正彦<sup>1,3)</sup>

<sup>1)</sup> 松下電器産業株式会社 IT 教育研究所

<sup>2)</sup> 大阪初芝学園初芝堺中学校

<sup>3)</sup> 東京大学非常勤講師、金沢工業大学客員教授

### あらまし

コンピュータ導入が進む学校現場において、ホームページ運用による学校公開や、音声、動画といったマルチメディアの学校活動への取り込み(1000 話を超える生徒の肉声メッセージ、毎月 1 回以上のイベント動画の撮影・公開)、保護者ページの導入など、約 2 年にわたり学校における実践的な IT 導入を実施した。そして、生徒を対象としたアンケートの結果(全学年対象、総数 187 名)、この IT 化実践が生徒の IT への好奇心の抑揚を促したことを確認した。

### キーワード

ホームページ、音声、動画、ビデオ、IT、学校公開、教育効果、地域交流

## An introduction example of IT and its educational effect in Hatsushiba Sakai Junior High School

Masanori Tagami<sup>1)</sup> Ayumu Iwasawa<sup>2)</sup> Masakatsu Eguch<sup>2)</sup> Takeshi Imanaka<sup>1)</sup> Masahiko Isshiki<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup> IT Institute for Education, Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd.

<sup>2)</sup> Hatsushiba Sakai Junior High School

<sup>3)</sup> The University of Tokyo, Kanazawa Institute of Technology

### Abstract

In a school which computers are introduced, we made a practical introduction example of IT that publicity of school was provided by means of home page, such as introduction of school events of multimedia method with sound and video and the specific home page for students guardians etc. for around two years and sent out questionnaire for students. In such result, we confirmed that this practice of IT in a school let students have a curiosity of IT.

### Keywords

Home page, Sound, Video, IT, Publicity of School, Educational effect, Community Interaction

## 1. はじめに

平成 10 年 12 月に改定された学習指導要領においては、「特色ある教育」を展開し「生きる力」の育成を図ることが基本的なねらいとされている。また、平成 15 年 12 月には、文部科学省により、更なる定着化を図ることを目的として学習指導要領の一部改定が行われた[1]。

従来より、初芝堺中学校[2]では、「特色ある教育」として、いち早くベンチャー教育を導入し、「生きる力」の養成に取り組んできた。また、IT 教育によって、子供たちが情報化社会に対応できるように能力開発に積極的に取り組み、さらに、松下電器産業㈱IT 教育研究所[3](以下、IT 教育研究所と呼ぶ)と連携することにより、その活動の強化を図ってきた。

本稿では、平成 15 年度から現在(平成 17 年 8 月)に至る初芝堺中学校における IT 化実践導入についての事例を紹介する。また、全校生徒対象のアンケート結果(総数 187 名分)から、生徒への影響を検証した。

## 2. 大阪初芝学園の紹介

大阪初芝学園は、大阪と和歌山で小学校・中学校・高等学校 7 校、附属の幼稚園、スイミングスクールなどからなる。従来より学内改革に取り組み、企業からの出向者として、教職員を受け入れるなどしている。また、平成 14 年から保護者や一般市民を対象に各界の第一人者を招き、子供の育て方について共に学び、論じ合う『初芝子育て大学』を毎年開講するなどの活動を行っている[4]。

## 3. IT 化実践導入の背景と狙い

初芝堺中学校の目指す方向性として、

1. 全人的な教育(学力、しつけ、国際化、健康)
2. ベンチャービジネス(職業観)の育成がある。

一方、IT 教育研究所は教育現場での実証活動の経験から、実践的な IT 導入のノウハウを築き、IT 活用の効果を得る手法として学校公開のしくみ作

りを推進してきた。

今回の取組みでは、初芝堺中学校の方向性と、IT 教育研究所のノウハウを融合することにより、実践的な IT 人材<sup>1</sup>を育成する環境づくりを狙いと

1: IT スキルスタンダード協議会(経済産業省)[5]などで求められるプロフェッショナルな人材。将来の可能性を秘める子供たちに、経営、戦略、開発、運用といった幅広いスキル要素を体感できる環境づくりを目標に設定した。

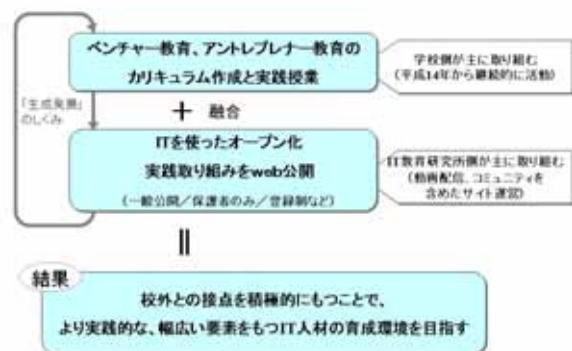


図1 IT実践の狙い

活動に際しては、図1に示すように、その内容が学校内外から見えやすく(理解されやすく)するために、ホームページに関連する活動(図2)を中心に推進した。このように情報発信を同時に行うことにより、社会との接点が増加し実践的な能力が身につけやすくなると思った。



図2 ホームページの役割

## 4 . IT 化実践導入の内容

3 章で示したように実際の活動はホームページに関連するものを中心に進めてきた。平成 15 年 4 月から平成 17 年 8 月までのホームページ関連の取り組みを、表 1 にまとめる。

項目	延べ更新数	月平均更新数	スタート時期
リニューアル	2 回	-	H15/7、H16.9
動画ビデオ	81 本	3.5 本/月	H15.10~
音声メッセージ	729 本	30.3 本/月	H15.9~
ニュース記事	96 本	3.7 本/月	H15.7~

表 1 取り組み一覧（ホームページの更新数）

### 4 . 1 ホームページ導入までのプロセス

ホームページ導入に際し、経験的に以下の点を考慮した。

- ・ 教師と生徒が一緒になって活動する上で、ホームページ作成が、html 言語の習得など、難しいものと感じ、敬遠されることの無いように推進すること
- ・ ホームページ構築（リニューアル）作業や技術（設備）導入よりも、運用業務の学校活動への取込に主眼をおくことが、IT 化実践につながる
- ・ 活動内容を担当者以外に理解してもらうよう配慮すること（担当者が推進しやすくなる）
- ・ 多角的な取り組みを実施すること
- ・ 技術教育は、実践活動が定着してから実施すること

上記に基づく推進活動の具体的プロセスを以下に記載する。

担当者間のコミュニケーション作りを行う。主に face to face の打ち合わせを行い、IT 化実践に関わるメンバー間の協力体制を築く。ホームページリニューアル時に、担当者以外に連絡し、周囲の理解を得る。ただし、この

段階では学校現場に技術が浸透しておらず、ホームページ構築作業は IT 教育研究所主体で推進する。

ページ更新などの運用業務の現場への定着化を推進する。また、例えば、運用業務を教職業務の中へ取り込むための活動を行う。

音声、動画（ビデオ）などマルチメディアの活用により、学校現場の好奇心の抑揚を行う。デザイナー、編集者などによる動画（ビデオ）撮影技術の指導を行い、担当者以外にも撮影活動の参画を促す

運用業務の生徒の学校活動（委員会、クラブ）への取り込みを行う。さらに、生徒へ指導する教職業務にもつなげる。

ホームページのアクセス分析を行い、利用する側からの観点を学校現場で意識する

この段階で、現場主体のホームページ運用を行い、html 技術教育、サーバ構成の理解など、実技的な知識を取り込む

情報セキュリティ、著作権の理解など、付随して必要となる知識範囲を広げる

### 4 . 2 音声の活用

ホームページ上で、1 日 1 本、毎日更新する音声メッセージに取組み、約 2 年で計 729 本の実績（～365 日×2 年）を得た。この音声メッセージにより、校長、教師、生徒の声をホームページ上で視聴することができる。一般に市販している IC レコーダ[6]を使って音声を録音し、教師が発言内容を確認してサーバにアップしている。IC カードからパソコンへの取込みは、市販の外部メモリー（SD カード）を媒体に行い、専用ソフト（機器付属ソフト：SD Voice Editor）を用いて WPM 変換を行っている。

導入ポイントとして、

- ・ 一般市販機器を使うこと（操作が容易）
- ・ その場で再生（内容チェック）、再録音ができること
- ・ 毎日更新するルールが、責任感と期待感のバ

ランスを築いたことを挙げるができる。

### 4.3 動画（ビデオ）の活用

動画活用には、撮影、編集のほか、企画構成力など幅広い要素を必要とする。そこで、学校活動上で使用場面の高い撮影を中心に推進を進めた。動画を扱う際には技術、多くの作業が必要となり図3に示すように、より創造的な部分を学校現場で行うようにした。



図3 動画（ビデオ）活用の進め方（役割関係）

図4に、以前よりIT教育研究所で用いている評価項目を使いグラフ化した撮影リテラシーの変遷を示す。評価項目は、ストーリー性、撮影目的の適正、カメラの振り回しブレ、映像アングルと構図、映像への配慮、音声への配慮、現場状況の伝え方の7項目を5段階評価したものである。

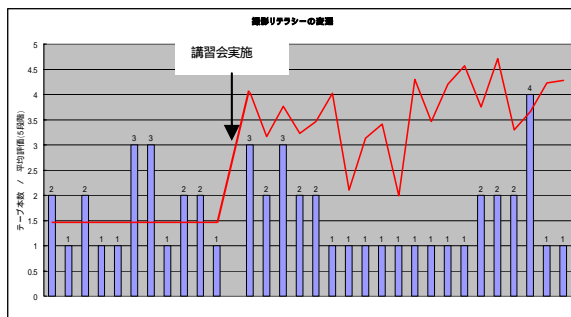


図4 撮影（ビデオ）リテラシーの変遷（実践：平均評価点、傍線：テープ本数を示す）

この動画の導入当初に、撮影講習会を開催した結果、平均評価が向上した。その後、ばらつきが発生し、特に評価項目の撮影目的の適正が落ちてきたが、表2に示すようなタイムチャートを導入し、撮影リテラシーの安定化を進めた。現在さらに、ストーリー性など、より高いレベルへ取り組みを行っている。

イベント活用動画  
【タイムコード表】

開始時刻	終了時刻	内容
00:00:00	00:00:11	オープニング
00:00:11	00:00:22	挨拶
00:00:22	00:00:33	挨拶
00:00:33	00:00:44	挨拶
00:00:44	00:00:55	挨拶
00:00:55	00:01:06	挨拶
00:01:06	00:01:17	挨拶
00:01:17	00:01:28	挨拶
00:01:28	00:01:39	挨拶
00:01:39	00:01:50	挨拶
00:01:50	00:02:01	挨拶
00:02:01	00:02:12	挨拶
00:02:12	00:02:23	挨拶
00:02:23	00:02:34	挨拶
00:02:34	00:02:45	挨拶
00:02:45	00:02:56	挨拶
00:02:56	00:03:07	挨拶
00:03:07	00:03:18	挨拶
00:03:18	00:03:29	挨拶
00:03:29	00:03:40	挨拶
00:03:40	00:03:51	挨拶
00:03:51	00:04:02	挨拶
00:04:02	00:04:13	挨拶
00:04:13	00:04:24	挨拶
00:04:24	00:04:35	挨拶
00:04:35	00:04:46	挨拶
00:04:46	00:04:57	挨拶
00:04:57	00:05:08	挨拶
00:05:08	00:05:19	挨拶
00:05:19	00:05:30	挨拶
00:05:30	00:05:41	挨拶
00:05:41	00:05:52	挨拶
00:05:52	00:06:03	挨拶
00:06:03	00:06:14	挨拶
00:06:14	00:06:25	挨拶
00:06:25	00:06:36	挨拶
00:06:36	00:06:47	挨拶
00:06:47	00:06:58	挨拶
00:06:58	00:07:09	挨拶
00:07:09	00:07:20	挨拶
00:07:20	00:07:31	挨拶
00:07:31	00:07:42	挨拶
00:07:42	00:07:53	挨拶
00:07:53	00:08:04	挨拶
00:08:04	00:08:15	挨拶
00:08:15	00:08:26	挨拶
00:08:26	00:08:37	挨拶
00:08:37	00:08:48	挨拶
00:08:48	00:08:59	挨拶
00:08:59	00:09:10	挨拶
00:09:10	00:09:21	挨拶
00:09:21	00:09:32	挨拶
00:09:32	00:09:43	挨拶
00:09:43	00:09:54	挨拶
00:09:54	00:10:05	挨拶
00:10:05	00:10:16	挨拶
00:10:16	00:10:27	挨拶
00:10:27	00:10:38	挨拶
00:10:38	00:10:49	挨拶
00:10:49	00:11:00	挨拶
00:11:00	00:11:11	挨拶
00:11:11	00:11:22	挨拶
00:11:22	00:11:33	挨拶
00:11:33	00:11:44	挨拶
00:11:44	00:11:55	挨拶
00:11:55	00:12:06	挨拶
00:12:06	00:12:17	挨拶
00:12:17	00:12:28	挨拶
00:12:28	00:12:39	挨拶
00:12:39	00:12:50	挨拶
00:12:50	00:13:01	挨拶
00:13:01	00:13:12	挨拶
00:13:12	00:13:23	挨拶
00:13:23	00:13:34	挨拶
00:13:34	00:13:45	挨拶
00:13:45	00:13:56	挨拶
00:13:56	00:14:07	挨拶
00:14:07	00:14:18	挨拶
00:14:18	00:14:29	挨拶
00:14:29	00:14:40	挨拶
00:14:40	00:14:51	挨拶
00:14:51	00:15:02	挨拶
00:15:02	00:15:13	挨拶
00:15:13	00:15:24	挨拶
00:15:24	00:15:35	挨拶
00:15:35	00:15:46	挨拶
00:15:46	00:15:57	挨拶
00:15:57	00:16:08	挨拶
00:16:08	00:16:19	挨拶
00:16:19	00:16:30	挨拶
00:16:30	00:16:41	挨拶
00:16:41	00:16:52	挨拶
00:16:52	00:17:03	挨拶
00:17:03	00:17:14	挨拶
00:17:14	00:17:25	挨拶
00:17:25	00:17:36	挨拶
00:17:36	00:17:47	挨拶
00:17:47	00:17:58	挨拶
00:17:58	00:18:09	挨拶
00:18:09	00:18:20	挨拶
00:18:20	00:18:31	挨拶
00:18:31	00:18:42	挨拶
00:18:42	00:18:53	挨拶
00:18:53	00:19:04	挨拶
00:19:04	00:19:15	挨拶
00:19:15	00:19:26	挨拶
00:19:26	00:19:37	挨拶
00:19:37	00:19:48	挨拶
00:19:48	00:19:59	挨拶
00:19:59	00:20:10	挨拶
00:20:10	00:20:21	挨拶
00:20:21	00:20:32	挨拶
00:20:32	00:20:43	挨拶
00:20:43	00:20:54	挨拶
00:20:54	00:21:05	挨拶
00:21:05	00:21:16	挨拶
00:21:16	00:21:27	挨拶
00:21:27	00:21:38	挨拶
00:21:38	00:21:49	挨拶
00:21:49	00:22:00	挨拶
00:22:00	00:22:11	挨拶
00:22:11	00:22:22	挨拶
00:22:22	00:22:33	挨拶
00:22:33	00:22:44	挨拶
00:22:44	00:22:55	挨拶
00:22:55	00:23:06	挨拶
00:23:06	00:23:17	挨拶
00:23:17	00:23:28	挨拶
00:23:28	00:23:39	挨拶
00:23:39	00:23:50	挨拶
00:23:50	00:24:01	挨拶
00:24:01	00:24:12	挨拶
00:24:12	00:24:23	挨拶
00:24:23	00:24:34	挨拶
00:24:34	00:24:45	挨拶
00:24:45	00:24:56	挨拶
00:24:56	00:25:07	挨拶
00:25:07	00:25:18	挨拶
00:25:18	00:25:29	挨拶
00:25:29	00:25:40	挨拶
00:25:40	00:25:51	挨拶
00:25:51	00:26:02	挨拶
00:26:02	00:26:13	挨拶
00:26:13	00:26:24	挨拶
00:26:24	00:26:35	挨拶
00:26:35	00:26:46	挨拶
00:26:46	00:26:57	挨拶
00:26:57	00:27:08	挨拶
00:27:08	00:27:19	挨拶
00:27:19	00:27:30	挨拶
00:27:30	00:27:41	挨拶
00:27:41	00:27:52	挨拶
00:27:52	00:28:03	挨拶
00:28:03	00:28:14	挨拶
00:28:14	00:28:25	挨拶
00:28:25	00:28:36	挨拶
00:28:36	00:28:47	挨拶
00:28:47	00:28:58	挨拶
00:28:58	00:29:09	挨拶
00:29:09	00:29:20	挨拶
00:29:20	00:29:31	挨拶
00:29:31	00:29:42	挨拶
00:29:42	00:29:53	挨拶
00:29:53	00:30:04	挨拶
00:30:04	00:30:15	挨拶
00:30:15	00:30:26	挨拶
00:30:26	00:30:37	挨拶
00:30:37	00:30:48	挨拶
00:30:48	00:30:59	挨拶
00:30:59	00:31:10	挨拶
00:31:10	00:31:21	挨拶
00:31:21	00:31:32	挨拶
00:31:32	00:31:43	挨拶
00:31:43	00:31:54	挨拶
00:31:54	00:32:05	挨拶
00:32:05	00:32:16	挨拶
00:32:16	00:32:27	挨拶
00:32:27	00:32:38	挨拶
00:32:38	00:32:49	挨拶
00:32:49	00:33:00	挨拶
00:33:00	00:33:11	挨拶
00:33:11	00:33:22	挨拶
00:33:22	00:33:33	挨拶
00:33:33	00:33:44	挨拶
00:33:44	00:33:55	挨拶
00:33:55	00:34:06	挨拶
00:34:06	00:34:17	挨拶
00:34:17	00:34:28	挨拶
00:34:28	00:34:39	挨拶
00:34:39	00:34:50	挨拶
00:34:50	00:35:01	挨拶
00:35:01	00:35:12	挨拶
00:35:12	00:35:23	挨拶
00:35:23	00:35:34	挨拶
00:35:34	00:35:45	挨拶
00:35:45	00:35:56	挨拶
00:35:56	00:36:07	挨拶
00:36:07	00:36:18	挨拶
00:36:18	00:36:29	挨拶
00:36:29	00:36:40	挨拶
00:36:40	00:36:51	挨拶
00:36:51	00:37:02	挨拶
00:37:02	00:37:13	挨拶
00:37:13	00:37:24	挨拶
00:37:24	00:37:35	挨拶
00:37:35	00:37:46	挨拶
00:37:46	00:37:57	挨拶
00:37:57	00:38:08	挨拶
00:38:08	00:38:19	挨拶
00:38:19	00:38:30	挨拶
00:38:30	00:38:41	挨拶
00:38:41	00:38:52	挨拶
00:38:52	00:39:03	挨拶
00:39:03	00:39:14	挨拶
00:39:14	00:39:25	挨拶
00:39:25	00:39:36	挨拶
00:39:36	00:39:47	挨拶
00:39:47	00:39:58	挨拶
00:39:58	00:40:09	挨拶
00:40:09	00:40:20	挨拶
00:40:20	00:40:31	挨拶
00:40:31	00:40:42	挨拶
00:40:42	00:40:53	挨拶
00:40:53	00:41:04	挨拶
00:41:04	00:41:15	挨拶
00:41:15	00:41:26	挨拶
00:41:26	00:41:37	挨拶
00:41:37	00:41:48	挨拶
00:41:48	00:41:59	挨拶
00:41:59	00:42:10	挨拶
00:42:10	00:42:21	挨拶
00:42:21	00:42:32	挨拶
00:42:32	00:42:43	挨拶
00:42:43	00:42:54	挨拶
00:42:54	00:43:05	挨拶
00:43:05	00:43:16	挨拶
00:43:16	00:43:27	挨拶
00:43:27	00:43:38	挨拶
00:43:38	00:43:49	挨拶
00:43:49	00:44:00	挨拶
00:44:00	00:44:11	挨拶
00:44:11	00:44:22	挨拶
00:44:22	00:44:33	挨拶
00:44:33	00:44:44	挨拶
00:44:44	00:44:55	挨拶
00:44:55	00:45:06	挨拶
00:45:06	00:45:17	挨拶
00:45:17	00:45:28	挨拶
00:45:28	00:45:39	挨拶
00:45:39	00:45:50	挨拶
00:45:50	00:46:01	挨拶
00:46:01	00:46:12	挨拶
00:46:12	00:46:23	挨拶
00:46:23	00:46:34	挨拶
00:46:34	00:46:45	挨拶
00:46:45	00:46:56	挨拶
00:46:56	00:47:07	挨拶
00:47:07	00:47:18	挨拶
00:47:18	00:47:29	挨拶
00:47:29	00:47:40	挨拶
00:47:40	00:47:51	挨拶
00:47:51	00:48:02	挨拶
00:48:02	00:48:13	挨拶
00:48:13	00:48:24	挨拶
00:48:24	00:48:35	挨拶
00:48:35	00:48:46	挨拶
00:48:46	00:48:57	挨拶
00:48:57	00:49:08	挨拶
00:49:08	00:49:19	挨拶
00:49:19	00:49:30	挨拶
00:49:30	00:49:41	挨拶
00:49:41	00:49:52	挨拶
00:49:52	00:50:03	挨拶
00:50:03	00:50:14	挨拶
00:50:14	00:50:25	挨拶
00:50:25	00:50:36	挨拶
00:50:36	00:50:47	挨拶
00:50:47	00:50:58	挨拶
00:50:58	00:51:09	挨拶
00:51:09	00:51:20	挨拶
00:51:20	00:51:31	挨拶
00:51:31	00:51:42	挨拶
00:51:42	00:51:53	挨拶
00:51:53	00:52:04	挨拶
00:52:04	00:52:15	挨拶
00:52:15	00:52:26	挨拶
00:52:26	00:52:37	挨拶
00:52:37	00:52:48	挨拶
00:52:48	00:52:59	挨拶
00:52:59	00:53:10	挨拶
00:53:10	00:53:21	挨拶
00:53:21	00:53:32	挨拶
00:53:32	00:53:43	挨拶
00:53:43	00:53:54	挨拶
00:53:54	00:54:05	挨拶
00:54:05	00:54:16	挨拶
00:54:16	00:54:27	挨拶
00:54:27	00:54:38	挨拶
00:54:38	00:54:49	挨拶
00:54:49	00:55:00	挨拶
00:55:00	00:55:11	挨拶
00:55:11	00:55:22	挨拶
00:55:22	00:55:33	挨拶
00:55:33	00:55:44	挨拶
00:55:44	00:55:55	挨拶
00:55:55	00:56:06	挨拶
00:56:06	00:56:17	挨拶
00:56:17	00:56:28	挨拶
00:56:28	00:56:39	挨拶
00:56:39	00:56:50	挨拶
00:56:50	00:57:01	挨拶

## 5. 生徒（全学年）対象アンケート

平成 17 年 8 月 20 日、全学年（中学 1,2,3 年生）の生徒対象に一齐に無記名式アンケートを実施した。アンケート全項目を図 5 に示し、アンケート結果を表 3 に示す。（N=187）

図 5 アンケート全項目

無記名式アンケート（全問）

ホームページ全体について

（ はい いいえ わからない）にて回答

Q1：あなたは、学校以外から堺中のホームページを見ることがある。

Q2：あなたの親は、堺中のホームページを楽しみにしていると思う。

Q3：卒業しても、初芝堺中のホームページを見たい。

Q4：自分のホームページを作りたいと思う。

Q5：掲示板に、他人の誹謗中傷を書き込んだことがある。

Q6：インターネット上で、人の顔や名前を見ると心配になる。

Q7：ビデオや CD、ソフトなどの海賊版の意味を知っている。

Q8：あなたは、友達と写った写真をインターネット上に掲載しようと思いました。その場合、（友達に確認してから掲載する、友達をびっくりさせようと、掲載後に確認する、ずっと黙っておく、わからない）

ヒト×ひとメッセージ（音声メッセージ）について

Q9：自分の声が掲載されることは、うれしい。

Q10：自分の声が掲載されることは、イタズラされそうで怖い。

Q11：以前と比べて、自分の意見を話すことができるようになった。

Q12：友達が話したメッセージが気になる

イベント動画について

Q13：学校活動の映像が掲載されることは、うれしい。

Q14：以前と比べて、ビデオを撮影することが上手になったと思う。

Q15：ビデオレターを友達に送ろうと思うことがよくある。

ホームページについて、何か言いたいことがあればお願いします。

---



---



---



---

(%)

	はい	いいえ	わからない	無効
Q1	69.0	24.1	6.9	
Q2	24.1	18.7	57.2	
Q3	50.3	20.3	29.4	
Q4	21.4	54.5	24.1	
Q5	3.2	93.1	3.2	0.5
Q6	20.3	54.6	24.6	0.5
Q7	52.9	31.1	13.9	2.1
Q8	81.8	0.5	1.1	13.4

(%)

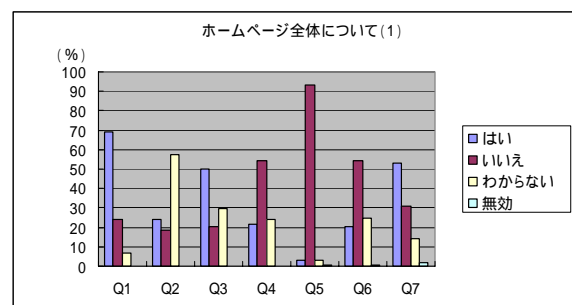
	はい	いいえ	わからない	無効
Q9	31.0	39.1	29.9	0
Q10	18.7	65.2	16.1	0
Q11	44.4	18.7	36.9	0
Q12	47.6	35.3	17.1	0

(%)

	はい	いいえ	わからない	無効
Q13	63.1	15.5	21.4	0
Q14	23.5	30.4	46.1	0
Q15	6.4	80.2	13.4	0

表 3 アンケート結果

ホームページ全体についての意見を得るために、Q1から Q8 の項目をアンケートに含めた。その結果をグラフに示したのが図 6 である。



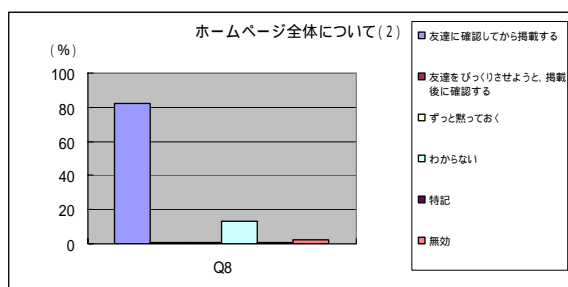


図6 全体に対するアンケート結果

Q1 に対する回答では、「はい 69.0%、いいえ 24.1%」、Q3 に対する回答では、「はい 50.3%、いいえ 20.3%」、Q8 に対する回答では、「友達に確認してから掲載する 81.8%」の結果を得ている。ホームページへの関心の高さと、セキュリティへの動機付けなど、生徒への影響は高いといえる。

また、学年別で検証した場合、Q6 に対する回答では、「はい:1年 17.4%、2年 14.8%、3年 35.0%」、Q7 に対する回答では、「はい:1年 29.1%、2年 64.0%、3年 50.0%」の結果を得た。中学1年生に比べ、2年生、3年生につれて、より実生活レベルの権利意識が芽生えている傾向がみられる。

音声メッセージに対する影響を検証するために、Q9 から Q12 の項目をアンケートに含めた。その結果をグラフに示したのが図7である。

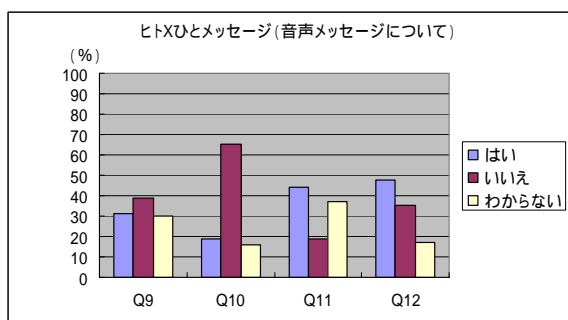


図7 音声メッセージに対する生徒対象アンケート結果

Q11 に対する回答では、「はい 44.4%、いいえ

18.7%」の結果を得ており、生徒への影響を確認することができた。ホームページへの取組みを通して、自分の意見を話すことができるようになってくるといった影響が出ている。

動画に対する影響を検証するために、Q13 から Q15 の項目をアンケートに含めた。その結果をグラフに示したのが図8である。

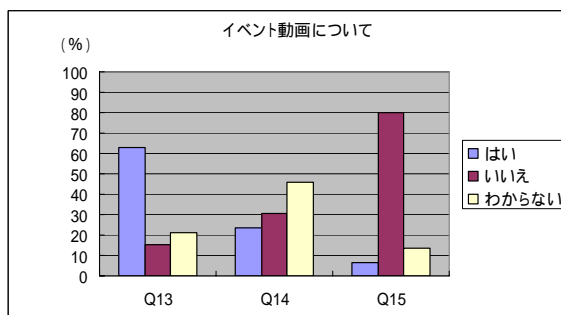


図8 動画活用に対するアンケート結果

動画活用による生徒へ影響は、活動(映像の掲載はうれしい:はい 63.1%)への高い関心結果を得ているが、Q11 に対する回答では、「はい:23.5%」、Q16 に対する回答では、「はい:6.4%」となり、まだ自らの活動の中に取り入れていくような傾向は見られなかった。

## 6. まとめ

筆者らは本活動が、学校現場レベルにおける IT への好奇心の抑揚を促し、最終的に学校現場主導の活動に導くための1つのモデルになり得ると考える。そのためには、今後動画撮影の学校生活への自然な導入など、さらに多面的な IT 化実践を進めていく必要がある。また、学校の特徴に合わせた取組みも重要であり、他の学校との共同取組みなども進めて行く必要がある。

子供たちが情報化社会に対応できる能力を開発できる環境づくりとして、IT 教育の必要性が今後ますます高まると考えられる。本稿が、各学校で取り組まれている IT 活用の導入推進に一助になることができれば幸いである。

## 参考文献

- [ 1 ] 文部科学省ホームページ新学習指導要領  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shuppan/sonota/990301.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/990301.htm)
- [ 2 ] <http://www.hatsushiba.ed.jp>
- [ 3 ] <http://panasonic.co.jp/itie/>
- [ 4 ] [http://www.top-kansai.com/executive/special\\_backnumber/special03/hatsushiba/hatsushiba\\_main.html](http://www.top-kansai.com/executive/special_backnumber/special03/hatsushiba/hatsushiba_main.html)
- [ 6 ] ITスキルスタンダード、経済産業省  
<http://www.meti.go.jp/kohosys/press/0003550/>
- [ 7 ] ICレコーダ、<http://ctlg.panasonic.jp/product/info.do?pg=04&hb=RR-XR330>